

第36回 SCAR(南極研究科学委員会)代表者会議(Delegate meeting)報告

中村卓司、伊村智

標記のオンラインの会議が2021年3月16日、23日、25日の3日間にわたり、2時間のセッションが5回開催され、日本から極地研中村（日本代表）および伊村（日本副代表）が参加した。通常は代表者会議は科学総会(Open Science Conference)(昨年8月に開催)と連続して開催されるが今回は定款の改定手続きに関する周知期間を十分とる必要があり本年3月の開催となった。会議はまず16日に定款の変更について議論し、全会一致でオンラインでの代表者会議を承認することなどの変更を行った。続いて23日と25日は日本時間の早朝4時から6時と18時から20時の2度にわたるセッションが開催された。ここでは会計報告と予算の承認の他、役員選挙と加盟国および準加盟国の承認が主な議題であった。選挙では、会長に韓国の Kim Yeadong 氏が選出され、副会長に Deneb Karentz (米国)、Jefferson Simões (ブラジル：2期目)が選出された。それぞれ任期は2024年までである。

チェコ共和国およびトルコ共和国の準加盟国から加盟国への変更が認められ、メキシコ合衆国の準加盟国としての参加が認められた。また、2024年の総会はチリ(Pucón)、2026年の総会はノルウェー(Oslo)で開催することが承認された。カーボンフットプリントの観点からも、今後もオンラインもしくはハイブリッドでの開催を検討すべきとの意見が多く出された。その他、科学グループ(Science Group)、常設委員会(Standing Committee)、SRP(Scientific Research Program)、Expert Group、Action Group の報告がなされ了承された。また、新規のSRPである INSTANT(INStabilities & Thresh- olds in ANTArctica)、Ant-ICON(Integrated Science to Inform Antarctic and Southern Ocean Conservation)、AntClimNow (Near-term Variability and Prediction of the Antarctic Climate System)の紹介があった。

SCAR2022の総会および科学総会については、7月27日・28日にビジネス会合(Business Meeting)がオンラインで、8月1日～10日に科学総会がオンラインで、9月5日～7日に代表者会議が対面方式によりインド・ゴアで開催される。